

相互会社形態へのこだわり

当社は、創業時から相互会社形態を貫く唯一の会社です。生命保険は相互扶助の精神にもとづく、国民生活に密接に関連した公共性の高い事業であり、こうした生命保険事業を営む当社では、「ご契約者の利益擁護」を経営理念に掲げております。そして、この経営理念を実現するには、ご契約者一人ひとりが構成員となる相互会社形態が相応しいと考えております。

創業

徴兵保険会社では唯一かつ最初の相互会社として「富国徴兵保険相互会社」を創業。



初代社長 根津嘉一郎



創業時の徴兵保険案内

保有純増主義

他社に先駆けて「保有純増主義」を打ち出し、良質な契約の募集、継続率の向上に努める。

窓販チャネルへの取組み

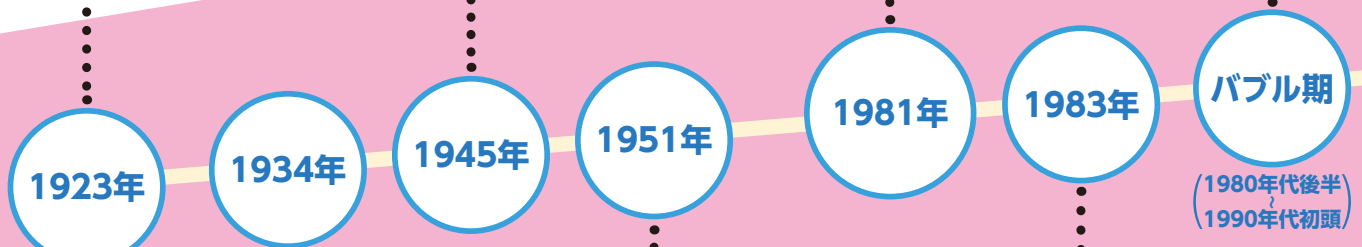
地域密着型の信用金庫を中心に、金融機関窓販に積極的に取り組む。2008年以降は、フコクしんらい生命で窓販チャネルを展開。

責任ある資産運用・商品提供

リスク性資産（不動産・株式）への投資を抑制。自己責任原則が浸透していないなか、変額保険は発売せず。

社名変更

富国生命保険相互会社へと改称。

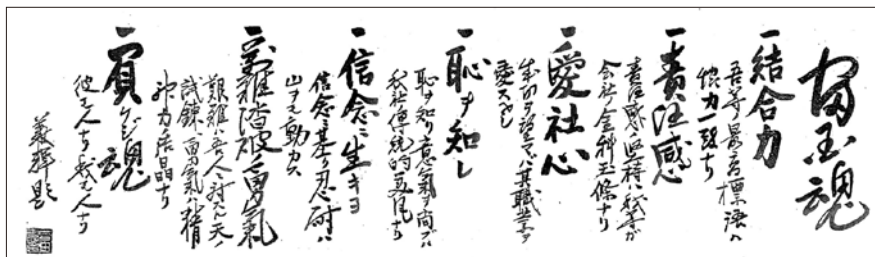


最大たらんよりは最優たれ

規模や量の追求を良しとせず、質の向上を目指し、「最大たらんよりは最優たれ」の経営方針を打ち出す。

富国魂

当時、常任取締役であった第2代社長吉田義輝によって提唱された「富国魂」。後の行動原則「私たちの“お客さま基点”」のベースとなる。



富国魂

ご契約者
本位

創業以来、変わらぬ経営理念「ご契約者の

価値観としての「お客さま基点」

当社は、「ご契約者本位」という想いのもと、相互会社として創業されました。この想いは、創業以来変わらぬ経営理念である「ご契約者の利益擁護」、そして価値観である「お客さま基点」に引き継がれています。

「もし自分がお客さまだったら」を常に想像しながらフコク生命ならではのサービスや経験を創り出し、提供していく「お客さま基点」の実践そのものが最大の差別化となり、結果として、お客さま満足度の向上につながると考えております。

「人材開発本部」の設立

社長を本部長とした「人材開発本部」を設立。「人づくり宣言」および「人づくり基本方針」を策定し、「お客さま基点」を実践できる人づくりに注力。

中期経営計画(2019～2021年度)

「徹底した差別化でお客さまから最も評価される会社となる」をビジョンに掲げ、従業員満足度の向上を通じて、お客さま満足度の向上を目指す。

「お客さま基点」に向けた取組み

「お客さま基点」を実践できる企業を目指し、企業変革活動に取り組む。

100周年プロジェクト

2023年の創業100周年に向け、100周年プロジェクトをスタート。「THE MUTUAL」というコンセプトのもと、次代の“相互扶助”を発信。

「お客さま基点」の業務運営方針

「お客さま基点」のもと、お客さま本位の業務運営のさらなる推進を図るため、方針を策定・公表。

第三分野への注力

1983年に医療保険を発売。以降、一貫して医療保障・生前給付保障などの第三分野に注力。



1983年9月
「医療保険」発売



2016年4月
「医療大臣プレミアアイト」発売

個人保険分野 9年連続増配

2020年度決算では、未来のとびらの死亡保障性特約、医療保険について増配。配当還元の充実を通じて、お客さまの実質的な保険料負担の軽減を図る。

価値観としての「お客さま基点」



「お客さま基点」を価値観と位置付けるとともに、経営理念体系を再構築。

利益擁護

価値観としての「お客さま基点」